

2022 年 6 月 3 日

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会加盟館 御中

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会研究会運営委員長校
椋山女学園大学図書館
図書館長 佐藤 厚子
(公印省略)

2022 年度 図書館実務担当者研修会の開催について (ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は協議会の活動に関しまして、格別のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本研究会では、標記の研修会を下記の通り開催する運びとなりましたので、貴館実務担当者のご参加をお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

つきましては、研修会に参加を希望される場合は、**6月24日(金)まで**に下記参加申込方法によりご回答をお願いいたします。また、ご質問およびご不明な点がございましたら、同じく連絡先までお問い合わせください。

ご多忙中のこととは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日 程： 2022 年 8 月 31 日 (水)、9 月 1 日 (木)、9 月 2 日 (金)

会 場： オンライン開催 (Zoom)
※参加申し込みの方にミーティング ID・パスコード等をお知らせいたします

内 容： 別紙「実施要領」および「グループワーキング紹介」のとおり

参加申込： 次の申込フォームから各自で申し込みをお願いします (参加費無料)
※1 名につき 1 つのメールアドレスを使用し、各自でお申込みください
【申込フォーム URL】 <https://forms.gle/yx35xeiuYmH5ehtAA>
【申込締切日】 2022 年 6 月 24 日 (金)

連 絡 先 椋山女学園大学図書館 担当：川井
E-mail: daitosyo@ml.sugiyama-u.ac.jp
TEL: 052-781-6452 (直通)

2022 年度 図書館実務担当者研修会 実施要領

1. 主 催： 私立大学図書館協会 西地区部会 東海地区協議会研究会

2. 開催趣旨及び全体テーマ

(1) 開催趣旨

2020 年初頭から始まった新型コロナ感染拡大に伴う社会状況の大きな変化は、大学図書館にも大きな影響（臨時休館、開館時間の制限、入館者の制限、閲覧席の間引き、電子リソース購入に係る予算措置の拡大、電子リソース利用環境整備、ラーニングコモンズの利用制限等）があり、現在も継続しているものもあり、大学図書館の在り方が大きく変わろうとしています。

科学技術・学術審議会学術分科会・情報委員会は、「コロナ新時代に向けた今後の学術研究及び情報科学技術の振興方策について（提言）」（2020-09-30）を公表し、大学図書館に係ることとして「大学図書館及び多様な学術情報のデジタル化や著作権法の見直し、研究の遠隔化・スマート化など、研究環境のデジタル化を促進」として言及しています。また、最近（2021-10-26）では、科学技術・学術審議会 情報委員会における下部組織として「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会」（オープンサイエンス等の動向を踏まえた、これからの大学図書館に求められる役割や機能等に係る事項について調査審議）を設置する方向で大学図書館の在り方の検討が進められようとしています。

学術情報流通を巡っては、「我が国の学術情報流通における課題への対応について」（科学技術・学術審議会情報委員会ジャーナル問題検討部会 2021-02-12）や「学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」（日本学術会議提言 2020-09-28）が公表され、学術情報について今後対応すべき課題が整理されています。

大学の授業は、オンライン授業が行われるようになり、著作物が公衆送信される状況も生まれ、著作権法第 35 条に基づく授業目的公衆送信に係る著作権処理制度の運用が始まっています。

利用者ガイダンスのコンテンツは、非来館型サービスの拡大に伴い 2020 年初頭以前に作成されたものの作り直しが進められていますし、コンテンツ作成に係る有用・無料のツールの種類も増えてきています。

このような状況を踏まえて、今回の実務担当者研修会では、①学術情報流通、②利用者ガイダンス、③著作権の 3 つのテーマで、各テーマにふさわしい講師による講演、講演後には参加者による情報交換により実務に有益な情報共有を進めます。

(2) 全体テーマ：ウィズコロナ時代における情報発信力の強化

テーマ 1：「海外の学術情報流通」

テーマ 2：「ガイダンス用コンテンツ作成」

テーマ 3：「著作権の最新状況」

3. 日程

(1) 第 1 日目 2022 年 8 月 31 日 (水) 13:00～16:30 ①海外の学術情報流通

(2) 第 2 日目 2022 年 9 月 1 日 (木) 13:00～16:30 ②ガイダンス用コンテンツ作成

(3) 第 3 日目 2022 年 9 月 2 日 (金) 13:00～16:30 ③著作権の最新状況

4. 会場 オンライン開催

5. 対象者

本協議会加盟館に勤務する者（派遣職員及び委託職員等を含みます）

6. 内容及びタイムテーブル

（1）内容

2022年度図書館実務担当者研修会 研修テーマ紹介（別紙）

（2）タイムテーブル

13:00～13:20 参加者自己紹介、事前課題のフィードバック

13:20～14:50 講演

14:50～15:00 休憩

15:00～15:50 情報交換会（グループ別）

15:50～16:00 休憩

16:00～16:30 情報交換会（全体会）

※三日間同じ時間帯となります。

※ご都合のよい日程でご参加ください。

※複数のテーマに参加することは可能ですが、上限を超えた場合は、一つのテーマのみ参加の方を優先とします。

※情報交換会は、Zoomのブレイクアウトルームを利用します。

7. 事前課題

研修テーマによっては、事前課題をご連絡することがあります。

8. 参加費：無料

9. 参加申込方法

（1）次に記載の「参加申込」URLから必要事項を入力してください。

<https://forms.gle/yx35xeiuYmH5ehtAA>

申込締切日 2022年 6月24日（金）

以上

2022年度 図書館実務担当者研修会 研修テーマ紹介

テーマ1：「海外の学術情報流通」

講 師	佐藤 翔（さとう しょう） 氏 （同志社大学 免許資格課程センター 准教授）
担当委員	* 田中（金城学院大学）、高橋（愛知学泉大学）、加藤（愛知工業大学） 座光寺（日本福祉大学）、杉山（藤田医科大学）
内 容	テーマ 海外の学術情報流通：ハゲタカジャーナルに対して大学図書館は何ができるのか？ 概要 現在の海外の学術情報流通の基本的知識を学んだ上で、ハゲタカジャーナルへの図書館の具体的な対応について検討する。 研修内容 ・ 自己紹介、事前課題のフィードバック ・ 講義 海外の学術情報流通（オープンアクセスなど）、ハゲタカジャーナルについて学ぶ。 ・ 情報交換会（グループワーク） グループで議論し、ハゲタカジャーナルへの図書館の対応案を作成する。 ・ 全体会 グループの代表者が対応案について発表し、参加者間で情報を共有する。
募集人員	20名
事前課題	講師が事前に指定した資料を読んでおく（予定） ※事前課題の詳細については参加者が決定後、別途担当委員より連絡いたします。

*は研修担当委員テーマ責任者

テーマ2：「ガイダンス用コンテンツ作成」

講 師	宮原 俊之（みやはら としゆき） 氏 （帝京大学 高等教育開発センター主任 教育方法研究支援室長 教授）
担当委員	＊山田（愛知淑徳大学）、石橋（皇學館大学）、澤木（名古屋女子大学）、川村（名城大学）
内 容	【テーマ】 効果的に伝わるガイダンス動画の作成を考える 【目的】 ・ 利用者に伝わる動画ガイダンスの実現にむけて必要なことを明らかにする。 ・ 効果的に伝えるポイントを理解して、自館の動画ガイダンス作成時に活用する。 【ワーク概要】 事前課題を基にした講師の講義とワーク（個人・グループ）を通じ、動画に対する理解を深めることで、効果的に伝わる動画作成の基礎を学び、その課題と活用方法について考える。 【ワーク内容】 ・ 事前課題①への講師フィードバック ・ 事前課題②の共有【グループワーク】 ・ 講師講義（情報のインプット） ・ 事前課題②の課題方策検討【個人ワーク】 ・ 事前課題②の課題方策共有【グループワーク】 ・ 事前課題③の評価【個人ワーク】 ・ 事前課題③の評価の共有【グループワーク】
募集人員	20名
事前課題	① 絵コンテを使ってストーリーを作る。 ② 現状のガイダンス動画についての課題を書き出す。 ③ 作成したコンテンツの効果的な活用（と思われる）方法や、すでにそのようなことができている（と思われる）館の事例を調べる。 ※事前課題の詳細については参加者が決定後、別途担当委員より連絡いたします。

＊は研修担当委員テーマ責任者

テーマ3：「著作権の最新状況」

講 師	村井 麻衣子（むらい まいこ） 氏 （筑波大学 図書館情報メディア系 准教授）
担当委員	＊石川（日本福祉大学）、川隅（椙山女学園大学）、田島（愛知学院大学）、 吉田（中部大学）、浅井（東海学園大学）
内 容	講演テーマ・内容 「オンライン授業や図書館におけるオンラインサービス対応等に関する 近時の著作権法改正について」 （・必要に応じて、著作権法の基本的な枠組みや、近時の法改正の流れにつ いて） ・著作権法第35条における授業目的公衆送信に関する平成30年著作権法改 正について ・著作権法第31条に関する令和3年著作権法改正について（国立国会図書館 による絶版等資料のインターネット送信、図書館等による図書館資料のメ ール送信等）
募集人員	20名
事前課題	著作権にかかわる学内（教員等）からの図書館への問い合わせへの対応事例 について（最近の状況） ※事前課題の詳細については参加者が決定後、別途担当委員より連絡いた します。

＊は研修担当委員テーマ責任者